

国際ミニシンポジウム

3D技術と

文化財活用、

博物館

日々の技術進展が著しい3D技術。
文化財の世界では
どのように活用されているのでしょうか？
本シンポジウムでは、
日本と韓国における
3D技術を活用した事例を紹介し、
その効果と課題について
理解を深めます。

日本

発表

野口 淳 NOGUCHI Atsushi (金沢大学古代文明・文化資源学研究所 客員研究員)

「3D技術がひらく文化財・博物館資料の未来」

鹿納晴尚 KANO Harumasa (東北大学総合学術博物館 技術職員)

「東北大学総合学術博物館における文化財等の
3D計測技術およびそのデータの活用」

韓国

発表

逐次通訳付(通訳:イ・スルチョロン)

パク ヨンジェ PARK Young Jae (韓国・コソリ協同組合 事務局長)

「韓国における3D技術の文化財活用と未来」

シン ドンウク SHIN Dong Wook (韓国・漢陽大学校文化財研究所 研究教授)

「博物館学の視点からみたデジタル技術の活用と課題」

International
Mini Symposium

| 主 催 | (公財)仙台市市民文化事業団
仙台市縄文の森広場

| 助 成 | (公財)カメイ社会教育振興財団

2023.3.11 SAT

13:00-16:30

仙台市縄文の森広場
体験活動室

定 員 会場:30名 / オンライン:80名 (Zoom)

申込方法 *先着順 *申込開始 / 2.10(金)9:00~

メール・FAXのいずれかに、氏名・電話番号を明記の上、
縄文の森広場までお送りください。

オンラインで参加の方は、必ずメールでお申し込みください。

せんだいしじょうもんのもりひろば

仙台市縄文の森広場

公益財団法人 仙台市市民文化事業団

〒982-0815 仙台市太白区山田上ノ台町10-1

TEL:022-307-5665 FAX:022-743-6771

E-mail j-hiroba@cap.ocn.ne.jp